



## 歌と語りで 人権啓発

1月22日、市民体育館を会場に約300人が参加して、人権のつどいが行われました。今回は、歌手の新谷のり子さんを迎え、反戦反差別歌と語りで、人権や差別について学習。ベトナム戦争に心を痛めて自殺したフランシーヌ・ルコントに思いをはせた「フランシーヌの場合」をはじめ、「竹田の子守唄」など、新谷さんの歌声に、観客は熱心に聞き入っていました。



## 春 近し!

国分川をみんなの手で美しくと、国分川の芝焼きが2月6日行われ、流域住民約700人が参加しました。これは「国分川をきれいにする会」(門田理博会長)が主催して毎年実施しているもの。一足早い春を感じさせる暖かな日ざしの中、点火された枯草はパチパチと音を立てて燃え広がり、その焼け跡からは空き缶やビンが、この日集められたごみの量は2t車で約4台分ありました。

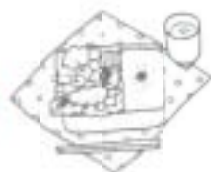


## 写真募集

カメラリポートでは、市内であった催し、これは皆さんに知ってもらいたいという名所や名物、決定的瞬間をとらえた写真などを募集します。撮影日時、場所にご一言コメントを添えてご応募ください。

▼応募先 〒783 南国市  
大坪甲2301 南国市役所  
企画課広報統計係(倉市役所  
内線423)

## ふれあい弁当



岡豊地区で70歳以上の独居老人38人を対象にした「給食サービス」が、1月25日からスタートしました。同地区社会福祉協議会(高島正会長)の主催で、地区社協、食生活改善推進協議会、民生委員ら93人のメンバーが、毎月1回、25日に手作りお弁当を配ります。

初回のこの日は、20人が岡豊営農改善センターで、五目ずし、コブ巻きなどを詰め合わせた家庭的なメニューでお弁当作り。できたお弁当に、岡豊小学校の子どもたちからの「これからもお元気で」「長生きしてください」などと書かれた手紙を添えて、お年寄り一人ひとりに配りました。



## みんなで歩いて 健康づくり



平成元年から始まった「岡豊地区歩こう会」は、同地区健康づくり推進協議会(森田百合子会長)が主催して毎月第1月曜日に行われ、40歳代から80歳代の主婦約20人が参加しています。コースは岡豊公民館から国分寺までの往復4km。一人ひとりマイペースで、おしゃべりも交えて、毎回来しく歩きます。冬晴れの2月7日、朝9時に集合した参加者たちは通い慣れた道を足取りも軽やかに歩き、仲間との交流を深めました。

## トラックがいっぱい

1月25日、トラック団地の落成式が行われました。同団地は、高知市内の運送業者らが県外大手業者に対抗するために組織した、県トラック団地組合が小笠、藤原の地域に建設していたもの。団地内には、中核にあたる団地会館をはじめ、各事務所、倉庫、給油所などが並び、活動を始めています。

また、落成式のあと、地元地権者に対し感謝状が送られました。



## 未来にむけて

1月17日、市内4農協(南国市、高知三和、十市、岩村)がグレース浜すして、合併に向け仮調印をしました。

式では合併準備契約書に各農協組合長、南国市助役ら7人が調印。2月26日の各農協での総会で組合員の承認が得られれば、7月1日、新組合「南国市農協(JA南国市)」がスタートします。



## カメラ リポート



農村女性の地位向上、後継者育成など農村の抱える問題を考えようと、1月21日、農協会館で「新しい村づくり交流会」が開催されました。生活改善グループや農協婦人部、同青年部などから200人ほどが参加。日本青年館結婚相談所の坂村洋子所長の講演のあと、農村婦人、青年、経営主の代表5人が、魅力ある農村を目指してのパネルディスカッションを行いました。

## 現代農村事情



一月二十三日、保健福祉センターを会場に、南国市併合大会が行われました。今年は、投票者百四十人、参加者六十人と今までになく多い参加でした。また、松林朝蒼氏の「俳句の自選と自作について」の講演もありました。主な入賞句は次のとおり。

(市長賞)  
大も木り益も太る大契夫  
初髪を扇して被る看護婦  
枯葉の披れにこもる力かな  
(議長賞)  
秋葉子屋のもつとも冬日引きつける  
寒芹の白銀まぶしきしづくかな

和氣修司 竹村福女  
杉原敬子  
藤原悦子  
岩城麗水

## 気分は芭蕉!?